【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2001-522886(P2001-522886A)
【公表日】平成13年11月20日(2001.11.20)
【出願番号】特願2000-520777(P2000-520777)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/422　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4439　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/444　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/496　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/5377　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/422
Ａ６１Ｋ　31/4439
Ａ６１Ｋ　31/444
Ａ６１Ｋ　31/496
Ａ６１Ｋ　31/5377
Ａ６１Ｐ　17/06
Ａ６１Ｐ　19/02
Ａ６１Ｐ　43/00

【手続補正書】
【提出日】平成17年7月27日(2005.7.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　治療するヒトがグラム陽性細菌感染症を患っていない場合の乾癬を治療するのに用いる薬物を製造するための、
（Ｓ）－Ｎ－[[３－[３－フルオロ－４－[４－(ヒドロキシアセチル)－１－ピペラジニル]－フェニル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、
（Ｓ）－Ｎ－[[３－[３－フルオロ－４－(４－モルホリニル)フェニル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、
[４（Ｓ）－シス]－(－)－Ｎ－[[３－[３－フルオロ－４－(テトラヒドロ－１－オキシド－２Ｈ－チオピラン－４－イル)フェニル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、
Ｎ－((５Ｓ)－３－(３－フルオロ－４－(４－(２－フルオロエチル)－３－オキソピペラジン－１－イル)フェニル)－２－オキソオキサゾリジン－５－イルメチル)アセトアミド、
（Ｓ）－Ｎ－[[３－[５－(３－ピリジル)チオフェン－２－イル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、および
（Ｓ）－Ｎ－[[３－[５－(４－ピリジル)ピリド－２－イル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、ならびにそれらの医薬上許容される塩から選択される

オキサゾリジノンの使用。

【請求項２】　該薬物を経口投与することを特徴とする請求項１記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項３】　オキサゾリジノンの日用量が５０ないし１，２００ｍｇ／日であることを特徴とする請求項２記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項４】　該薬物を液剤、クリーム剤、軟膏、ゲル剤、ローション剤、懸濁剤または乳剤として局所投与することを特徴とする請求項１記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項５】　局所投与する量が０．０１％ないし１０％であることを特徴とする請求項１記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項６】　該薬物をＩＶ投与することを特徴とする請求項１記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項７】　該オキサゾリジノンが（Ｓ）－Ｎ－[[３－[３－フルオロ－４－（４－モルホリニル）フェニル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミドであることを特徴とする請求項１記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項８】　治療するヒトがグラム陽性細菌感染症を患っていない場合の関節炎を治療するのに用いる薬物を製造するための、

（Ｓ）－Ｎ－[[３－[３－フルオロ－４－[４－(ヒドロキシアセチル)－１－ピペラジニル]－フェニル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、

（Ｓ）－Ｎ－[[３－[３－フルオロ－４－(４－モルホリニル)フェニル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、

[４（Ｓ）－シス]－(－)－Ｎ－[[３－[３－フルオロ－４－(テトラヒドロ－１－オキシド－２Ｈ－チオピラン－４－イル)フェニル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、

Ｎ－((５Ｓ)－３－(３－フルオロ－４－(４－(２－フルオロエチル)－３－オキソピペラジン－１－イル)フェニル)－２－オキソオキサゾリジン－５－イルメチル)アセトアミド、

（Ｓ）－Ｎ－[[３－[５－(３－ピリジル)チオフェン－２－イル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、および

（Ｓ）－Ｎ－[[３－[５－(４－ピリジル)ピリド－２－イル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、ならびにそれらの医薬上許容される塩から選択されるオキサゾリジノンの使用。

【請求項９】　該薬物を経口投与することを特徴とする請求項８記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項１０】　オキサゾリジノンの日用量が５０ないし１，２００ｍｇ／日であることを特徴とする請求項９記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項１１】　該薬物を液剤、クリーム剤、軟膏、ゲル剤、ローション剤、懸濁剤または乳剤として局所投与することを特徴とする請求項８記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項１２】　局所投与する量が０．０１％ないし１０％であることを特徴とする請求項１１記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項１３】　該薬物をＩＶ投与することを特徴とする請求項８記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項１４】　ＩＶ投与する量が５０ないし１，２００ｍｇ／日であることを特徴とする請求項１３記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項１５】　該オキサゾリジノンが（Ｓ）－Ｎ－[[３－[３－フルオロ－４－（４－モルホリニル）フェニル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミドであることを特徴とする請求項８記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項１６】　治療するヒトがグラム陽性細菌感染症を患っていない場合に、１またはそれを超える抗癌化学療法剤で治療している個人の造血細胞および腸細胞に対する損傷を低減する薬物を製造するための、

（Ｓ）－Ｎ－[[３－[３－フルオロ－４－[４－(ヒドロキシアセチル)－１－ピペラジニル]－フェニル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、
（Ｓ）－Ｎ－[[３－[３－フルオロ－４－(４－モルホリニル)フェニル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、
[４（Ｓ）－シス]－(－)－Ｎ－[[３－[３－フルオロ－４－(テトラヒドロ－１－オキシド－２Ｈ－チオピラン－４－イル)フェニル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、
Ｎ－((５Ｓ)－３－(３－フルオロ－４－(４－(２－フルオロエチル)－３－オキソピペラジン－１－イル)フェニル)－２－オキソオキサゾリジン－５－イルメチル)アセトアミド、
（Ｓ）－Ｎ－[[３－[５－(３－ピリジル)チオフェン－２－イル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、および
（Ｓ）－Ｎ－[[３－[５－(４－ピリジル)ピリド－２－イル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミド、ならびにそれらの医薬上許容される塩から選択されるオキサゾリジノンの使用。

【請求項１７】 該造血細胞が骨髄細胞であることを特徴とする請求項１６記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項１８】 該造血細胞が脾臓細胞であることを特徴とする請求項１６記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項１９】 該薬物を、抗癌化学療法剤で治療する２ないし２０日前の期間に投与することを特徴とする請求項１６記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項２０】 該薬物を、抗癌化学療法剤で治療する５ないし７日前の期間に投与することを特徴とする請求項１９記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項２１】 該薬物を抗癌化学療法剤と同時に投与することを特徴とする請求項１６記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項２２】 該抗癌化学療法剤が、クロラムブシル、シクロホスファミド、チオテパ、ブスルファン、カルムスチン、シスプラチン、カルボプラチン、マイトマイシン、プロカルバジン、ブレオマイシン、アムサクリン、ダウノルビシン、ドキソルビシン、エトポシド、プリカマイシン、カンプトテシン、イリノテカン、メトトレキサート、メルカプトプリン、エロキシウリジン(eloxuridine)、フルオロウラシル、ビンブラスチン、ビンクリスチン、パクリタキセル(paclitaxel)、ジエンエストロール、ジエチルスチルベストロール、エストラジオール、タモキシフェンおよびフルオキシメステロン(fluoxymesterone)よりなる群から選択されることを特徴とする請求項１６記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項２３】 該抗癌化学療法剤がエトポシド、イリノテカン、フルオロウラシルおよびパクリタキセルよりなる群から選択されることを特徴とする請求項２２記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項２４】 該薬物を５０ｍｇないし１,２００ｍｇ／日投与することを特徴とする請求項１６記載のオキサゾリジノンの使用。

【請求項２５】 該オキサゾリジノンが（Ｓ）－Ｎ－[[３－[３－フルオロ－４－(４－モルホリニル)フェニル]－２－オキソ－５－オキサゾリジニル]メチル]アセトアミドであることを特徴とする請求項１６記載のオキサゾリジノンの使用。